

第2次豊中市みどりの基本計画 中間総括

令和5年3月

環境部公園みどり推進課

目次

はじめに	1
1. 施策の振り返り	2
1.1. 計画目標の達成状況	2
1.2. 具体施策の進捗状況	6
1.3. 新たな取組み	7
1.4. みどりをめぐる近年の社会情勢	8
1.5. みどりの現況	9
1.6. 課題と今後の取組みへの考え方	10
2. 施策の取組み方針	11
2.1. 個別施策に対する方針	11
2.2. 地域別の取組み方針	13
2.3. 緑化重点地区の取組み方針	20
3. 施策の進行管理	21
3.1. 推進体制	21
3.2. 進行管理方法	21
3.3. スケジュール	21

はじめに

豊中市は平成 11 年（1999 年）に都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に行うため、みどりの確保目標や将来のあるべき姿、また、それらを実現するための施策などを定めた「豊中市みどりの基本計画」を策定し、同計画に基づく様々な施策を推進してきました。その後、社会情勢や自然環境の変化、法制度の変更などに対応した新しい視点によるまちづくりを推進するため、平成 30 年（2018 年）に現行計画である「第 2 次豊中市みどりの基本計画」へ改定を行いました。

現行計画では“まちなかに人とみどりの笑顔があふれる豊中”を基本理念に掲げ、みどりのあるべき姿を示すみどりの将来像を定めました。みどりの将来像の実現に向け、これまで重視されてきたみどりを「つくる」「守る」だけでなく、みどりを「育てる」「活かす」といった視点を加え、施策推進の柱となる基本方針として、「みどりを守り育てる」「みどりをつくる」「みどりを活かす」の 3 つを設定し、取組みを進めてきました。

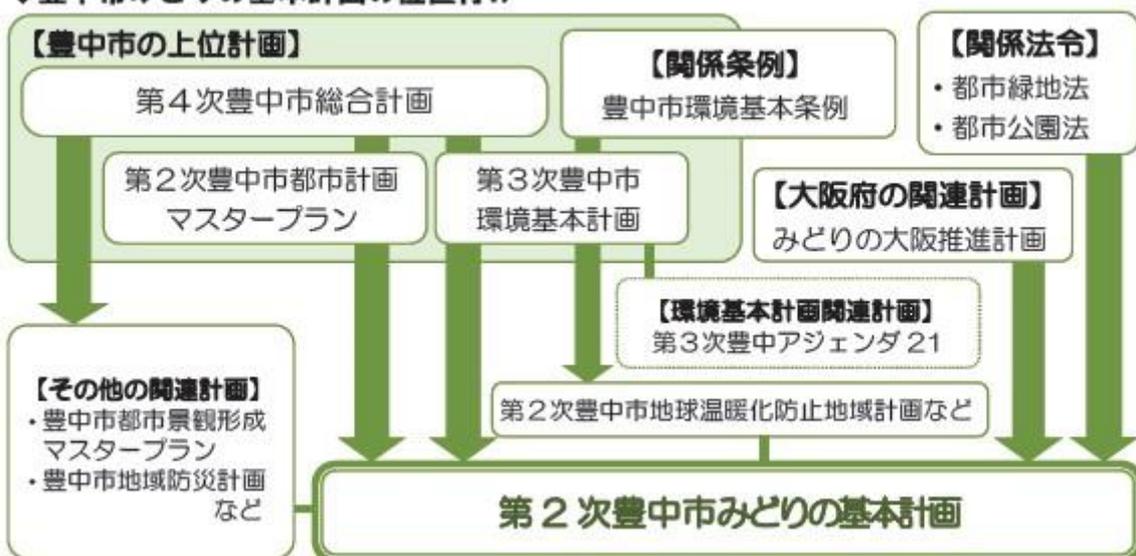
現行計画の運用開始より令和 4 年度（2022 年度）で 5 年目を迎えることから、これまでの取組みやみどりを取り巻く近況を踏まえ、施策に基づく事業の状況把握と評価や今後の取組みについての方向性を検討するための中間総括を行いました。

この総括では、引き続き本計画の 3 つの基本方針に基づく取組みを進めることを維持しながら、これまでの成果や課題を踏まえ、次の 5 年間の計画期間への方針を記載しています。

これからも本市はこの基本計画に基づき、市民や事業者のみなさまと協働しながら、みどりの将来像の実現に向けて取組みを推進していきます。

なお、現行計画の策定、中間総括にあたっては、「第 4 次豊中市総合計画」「第 2 次豊中市都市計画マスタープラン」「第 3 次豊中市環境基本計画」を上位計画とし、これらやその他の関連計画、関係条例や関係法令との整合を図っています。

◆豊中市みどりの基本計画の位置付け



1. 施策の振り返り

1.1. 計画目標の達成状況

本計画では計画の達成状況を評価するため、6つの項目について目標値を掲げています。中間総括時の達成状況は次の通りです。

項目	2015年度 (計画策定時)	2022年度 (中間総括時)	2027年度 (目標値)
みどり率	25.7%	24.1% (2021年度)	27.0%
緑被率	14.4%	12.9% (2021年度)	15.7%
みどりに対する 満足度	67.2%	75.0% (2021年度)	70.0%
市民一人当たりの 公園・緑地面積	7.17㎡ (2016年度)	7.11㎡	7.17㎡
公園・緑地に対する 満足度	51.8%	53.2% (2021年度)	60.0%
みどりに関する イベント参加者数	105,604人 (2006~2015年度)	44,202人 (2018~2021年度)	150,000人 (2018~2027年度)

※2021年度の「みどりに関するイベント参加者数」は実績なし

本計画では、植物をはじめ、鳥獣類や魚類、昆虫などの生き物が生息・生育する場所となり、人々の生活基盤となっている市域の樹林・樹木、草地、農地、水面（河川・水路やため池）、屋上緑化、これらと一体となったオープンスペースなどの緑地を「みどり」の対象としています。

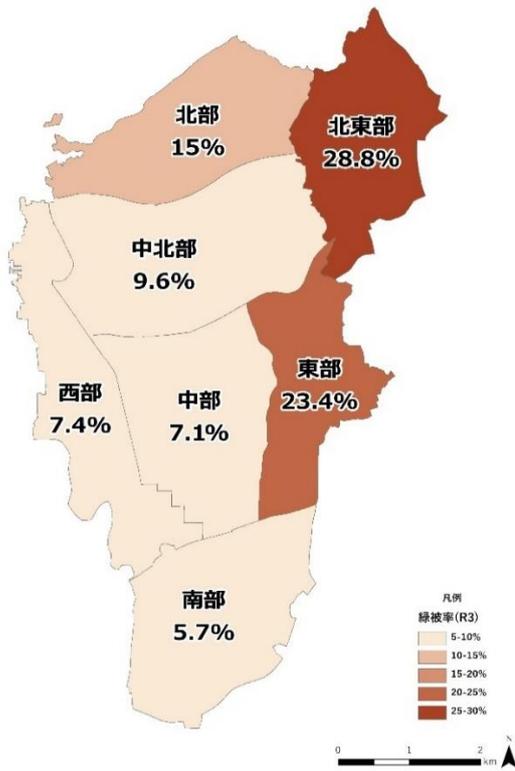
■みどり率、緑被率

みどり率は25.7%から24.1%に、緑被率は14.4%から12.9%にそれぞれ減少しています。令和3年度（2021年度）に実施した衛星画像を用いた緑被量調査の結果から、みどり率、緑被率の主な減少要因は開発行為による竹林・樹林の伐採となっています。特に、北部、中北部、東部地域の減少率が高くなっています。

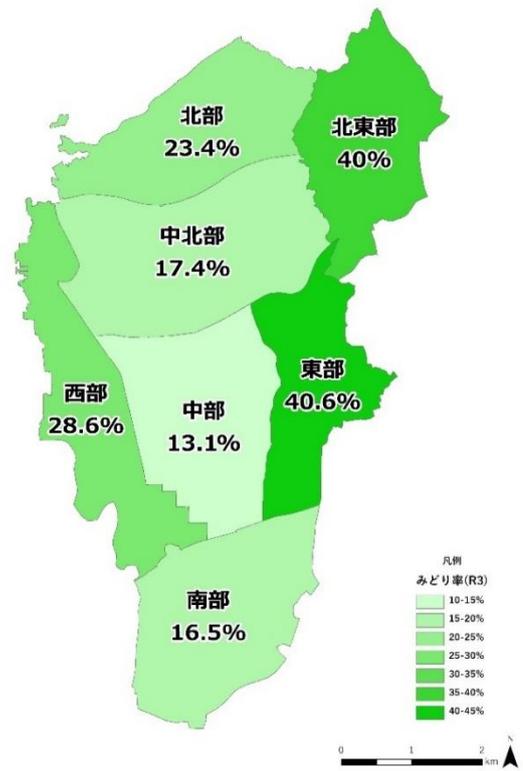
減少率が高い地域のうち、北部地域は樹木の成長がみられるものの、開発行為による竹林伐採や街路樹の強剪定によって全体の緑量は減少しています。中北部地域は地域面積に比べてみどりの面積がもともと少ない地域ですが、開発による樹木・竹林伐採、建て替え等による敷地内樹林の伐採によって緑量は減少しています。東部地域も開発により樹木・竹林の伐採が多く、緑量は減少しています。

農地についてはみどり全体に占める割合は低いものの、大きく減少しています。平成27年（2015年）からの令和3年（2021年）の5年間に面積は約3割減少し、その大半が宅地開発によるものです。市域全域が市街化区域の影響もあり、一貫して減少が続いています。

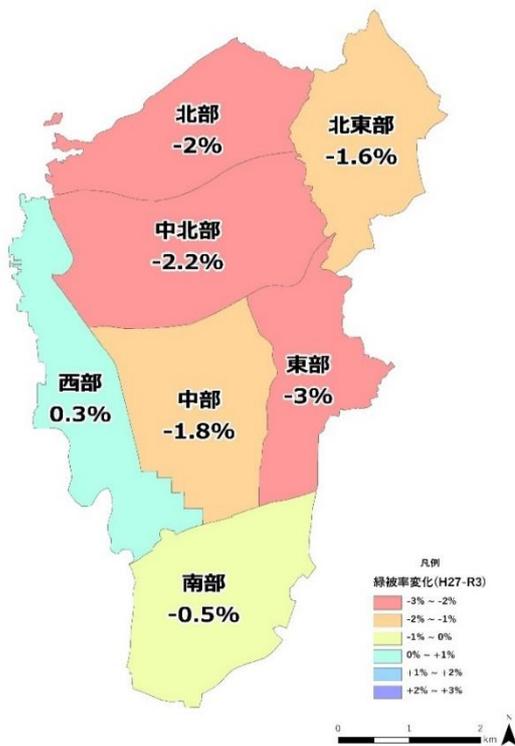
その一方で、草地・芝地は裸地や農地の草地化や調査精度の向上により、屋上緑化も開発行為に伴う屋上緑化物の成長や調査精度の向上により、それぞれ増加しています。



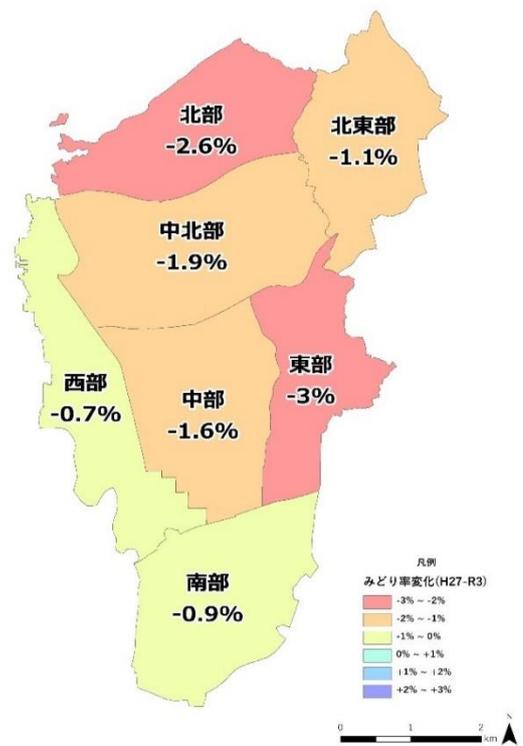
緑被率 (令和3年度)



みどり率 (令和3年度)



緑被率の変化
(平成27年度→令和3年度)



みどり率の変化
(平成27年度→令和3年度)

■みどりに対する満足度、公園・緑地に対する満足度

令和3年度（2021年度）に実施したみどりに対する市民意識調査の結果から、「みどりに対する満足度」は75.0%で、計画策定時と比較すると7.8ポイント上昇しており、市内のみどりに対して満足している回答は多く、一定の評価を得ています。

市全体のみどりの量や印象については、いずれの項目も計画策定時から上昇しており、市内のみどりについて充実感が得られていると考えられます。

地域におけるみどりの量や印象については、地域によって満足度の差が大きく見られる傾向は計画策定時から変わらず続いており、北部と西部地域ではやや低下しています。

「公園・緑地に対する満足度」は53.2%で、地域ごとに回答内容の差がみられますが計画策定時と比較すると、全体で1.4ポイント上昇しており、微増となっています。

市の印象的なみどりとして、「公園のみどり」、「千里緑地など自然のみどり」、「道路や緑道のみどり」が上位に選ばれており、公園整備を進めたことや街路樹等の適正管理に取り組んだことで、これらのみどりに対する満足度が向上したと考えられます。

なお、みどりに対する満足度、公園・緑地に対する満足度ともに、概ねの地域で高い傾向にありますが、西部が他地域と比較すると低い傾向にある他、みどりの量に対する印象とみどりに対する満足度が一致していない地域もみられます。

地域	みどりの印象	みどりの満足度	印象的なみどり	守りたいみどり(上位3位)	増やしたいみどり(上位3位)	公園の満足度	公園への不満(不満を持つ方の意見)(上位3位)
北部	多い	高い	道路	1.公園 2.自然 3.道路	1.道路 2.商業施設 3.公園	高い	1.草刈等の管理不十分 2.みどりが少ない 3.身近に公園がない
北東部	多い	高い	道路	1.公園 2.自然 3.道路	1.商業施設 2.道路 3.教育施設	高い	1.その他 2.身近に公園がない 3.草刈等の管理不十分
中北部	少ない	高い	公園	1.公園 2.自然 3.道路	1.道路 2.公園 3.商業施設	高い	1.休憩施設が少ない 2.その他 3.みどりが少ない
中部	普通	高い	公園	1.公園 2.自然 3.道路	1.道路 2.商業施設 3.公園	高い	1.ゴミ散乱、清掃不足 2.利用者マナー 3.その他
西部	少ない	普通	公園	1.公園 2.道路 3.自然	1.道路 2.教育施設 3.商業施設 3.事業所	低い	1.利用者マナー 2.草刈等の管理不十分 3.遊具が少ない 3.休憩施設が少ない
東部	多い	高い	公園	1.公園 2.自然 3.道路	1.道路 2.教育施設 3.商業施設	高い	1.遊具が少ない 2.広場が少ない
南部	少ない	高い	公園	1.公園 2.道路 3.自然	1.道路 2.商業施設 3.公園	普通	1.みどりが少ない 2.利用者マナー 3.ゴミ散乱、清掃不足 3.草刈等の管理不十分

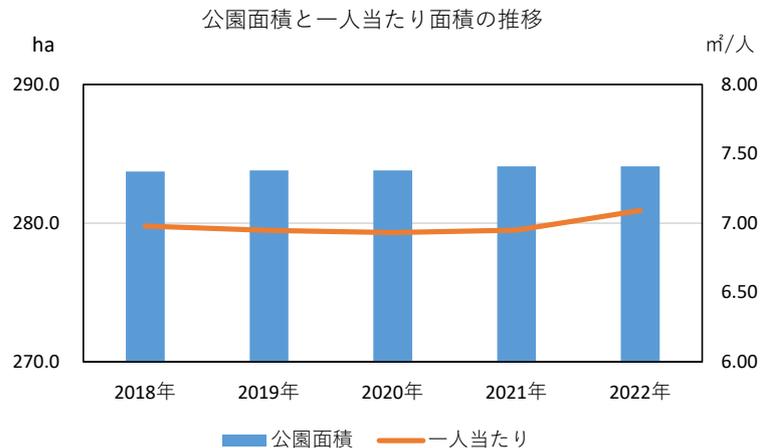
※みどりの印象は、「多い」「やや多い」の合計の割合と「少ない」「やや少ない」の合計の割合を比べて「多い」「少ない」を表記しているが、「多い」とする場合で、その差が20%未満の場合には、「普通」と表記している。

※みどりの満足度及び公園の満足度は、「満足」「やや満足」の合計の割合と「不満」「やや不満」の合計の割合を比べて「高い」「低い」を表記しているが、「高い」とする場合で、その差が20%未満の場合には、「普通」と表記している。

■市民一人当たりの公園・緑地面積

令和3年（2021年）現在の市民一人当たりの公園・緑被面積は7.11㎡です。

公園面積は、大阪国際空港周辺の場外用地買取による公園整備や開発行為に伴って整備された公園の帰属により、着実に増加しています。一方、市の人口も年々増加しており、人口増加が公園面積増加の傾向を上回るため、計画策定時と比較すると、市民一人当たりの公園・緑地面積は微減となっています。



■みどりに関するイベント参加者数

平成27年度（2015年度）から平成29年度（2017年度）にかけて、みどりに関するイベント参加者数はほぼ横ばいに推移しました。

この推移はイベントの定着を表す結果になりましたが、新たな参加者を増やすために、市ホームページの活用や学校へのチラシ配布など、より一層の周知や広報を進めてきたことで、平成31年度（2019年度）度には多くの参加者数を記録しました。しかし、令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減少となり、令和3年度（2021年度）の上半期までその影響は続きました。

下半期からはイベント開催の規制緩和によって、ふれあい緑地フェスティバルを3年ぶりに開催するなど、各種イベントにおいて開催方法に対応を行うことで、参加者数の増加傾向がみられ、以前の賑わいを取り戻しつつあります。



令和4年度「ふれあい緑地フェスティバル」の様子

1.2. 具体施策の進捗状況

本計画では、目標を達成するための3つの基本方針に基づき、11の基本施策とそれを実行するための46の具体施策を設定しています。計画策定から5年間の進捗評価は下表のとおりです。

基本方針	基本施策	評価	具体施策
1. 受け継がれてきたみどりの保全や育成	1. まとまりのあるみどりの保全や育成	全ての施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価を「A」とします。	1. 公園・緑地のみどりの保全や育成 2. 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成 3. 風致保安林の保全や育成 (森林整備計画に基づく森林の保全や育成) 4. 民有地の樹林・樹木の保全に対する支援
	2. 生物多様性の保全	参加者数の減少や市民団体の高齢化等により、実績が低下傾向にあるため、進捗評価を「C」とします。	5. エコロジカル・ネットワークの形成 6. ヒメボタルの生息地の保全 7. 島熊山緑地の保全
	3. 連続性や水面のあるみどりの保全や育成	概ね施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価を「A」とします。	8. 街路樹の保全や育成 9. 河川のみどりの保全 10. 水路のみどりの保全や育成 11. ため池のみどりの保全
	4. 農地の保全	概ね施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価を「A」とします。	12. 生産緑地地区制度の活用 13. 市民農園の活用への確認
2. 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出	5. 公有地の緑化	概ね施策を実施していますが、緑化活動において、実績が低下傾向にあるため、進捗評価を「B」とします。	14. 駅前や道路における特色のある緑化 15. 多様な手法による公共施設の緑化 16. 市民の交流拠点となるポケットパークの緑化 17. 教育施設や保育施設における緑化
	6. 民有地の緑化	概ね施策を実施していますが、緑化活動において、商業地や道路沿線における緑化に関して、実績の低下や未実施等があるため、進捗評価を「B」とします。	18. 環境配慮指針に基づく緑化 19. 住宅地における緑化 20. 商業地における緑化 21. 工業地における緑化 22. 道路沿線における緑化
	7. 景観を形成するみどりづくり	概ね施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価を「A」とします。	23. 風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり 24. 良好なみどりの景観を形成する制度を活用した地域づくり 25. 花とみどりの名所づくり 26. みどりを見渡す眺望点づくり 27. 草花による美しいまちなみづくり 28. 屋上や壁面を活用したみどりづくり
3. みどりを活かした安全で快適な暮らしの実現	8. 魅力的で利便性の高い公園づくり	概ね施策を実施していますが、長期未整備都市計画公園・緑地の見直しの実現には至っていないことから進捗評価を「B」とします。	29. 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し 30. 安全で特色のある公園づくり 31. 開発許可制度及び土地区画整理事業による身近な公園づくり 32. 地域住民との連携による愛着が持てる公園づくり
	9. 防災・減災に資するみどりづくり	概ね施策を実施していますが、公共施設一体型公園の整備実績がないことから進捗評価を「B」とします。	33. 公園・緑地における防災機能の強化 34. 庄内・豊南町地区における防災機能の強化 35. 地域防災計画に基づく市街地の緑化 36. 公共施設一体型公園づくり
	10. みどりの保全や緑化活動に対する支援	概ね施策を実施していますが、コロナ化に伴う活動の中止や活動者の高齢化・固定化がみられることから進捗評価を「B」とします。	37. みどりに関する活動を広げる交流の場の活用 38. 花とみどりの相談所の活用 39. 緑化リーダーの養成 40. 生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用 41. 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用 42. みどりに関するに活動発表の場や表彰制度の活用
	11. みどりの普及啓発	概ね施策を実施していますが、コロナ化に伴うイベントの中止や利用者数の減少がみられることから進捗評価を「B」とします。	43. みどりに関するイベントの開催 44. みどりに関する情報発信 45. 自然体験及び野外活動の場の活用 46. 緑化事業基金の活用

※評価は、具体施策が概ね実施されて、モニター指標の実績も良好に推移するものは「A」、具体施策が概ね実施されているが、モニター指標の実績が低下しているものは「B」、具体施策が実施できていないものがあり、モニター指標の実績が低下しているものは「C」とする。

1.3. 新たな取組み

基本方針に基づき実施してきた具体施策に加えて、計画策定からの5年間で新たに開始した事業や拡充を行った主な事業は下表の通りです。

それぞれの事業が、6ページのどの具体施策に関連して実施した事業かを併せて記載します。

事業内容	関連する具体施策
● 台風による被害を受けた春日神社風致保安林の機能回復のための再生整備を実施	2、3、4、5
● ビオトープ機能を有する「ふれあい緑地1街区」の活用について地域等と検討し、新たな自然環境啓発を実施	5、15、32、45
● 豊中市公園樹木維持管理方針の策定	8、22
● ニノ切池公園バラ園のリニューアルオープン	15、25
● 緑化重点地区（市南部）に有効な民有地への新たな緑化支援制度の策定	19、20、21
● 生垣緑化支援制度から、「生垣緑化・沿道緑化支援制度」への拡充	19、24、27
● 「3軒からのご近所緑化支援制度」を開始	19、24、27
● 『みんなでつくる「花とみどりの名所マップ」』を開始し、「みどりのフォーラム」と「環境展」にてパネル展示	25、44
● 庄内さくら学園及び庄内コラボセンターの開設にあわせた庄内幸町3丁目公園の再整備	30
● 千里中央公園における民間事業者による健康支援のためのデジタルサイネージ設置	30
● 千里中央公園再整備における運営事業者の決定	30
● 千里中央公園の施設改修工事実施	30
● 小規模公園におけるあり方ワークショップ実施	30、32
● 「とよなか公園魅カアップツリー」の開始	30、32
● 防災公園における防災訓練の実施、整備	33
● 緑化啓発イベント「みどりフォーラム」「みどりのつどい」を市南部地域にて初開催	43、44
● 緑被量調査、みどりに対する市民意識調査実施	44



令和3年度「みどりのフォーラム」
庁内ローズ開催の様子



令和3年度「花とみどりの名所マップ」
パネル展示の様子

1.4.みどりをめぐる近年の社会情勢

計画策定時から、関係法令の改正やみどりを取り巻く情勢の変化がありました。

特に、巨大地震や気候変動等による自然災害リスクが高まる中、みどりが持つグリーンインフラとしての機能を活用した防災・減災対策の強化が求められています。

■都市緑地法の改正 (H29.6)

- ・「緑地」の定義に農地が含まれることを明記
- ・緑の担い手として民間主体を指定する制度の拡充
- ・民間による市民緑地の整備を促す制度の創設 等

■都市公園法の改正 (H29.6)

- ・民間事業者による公共還元型収益施設の設置管理制度創設
- ・都市公園で保育所等の設置を可能に 等

■生産緑地法の改正 (H29.5)

- ・生産緑地地区の面積要件の引き下げが可能に
- ・直売所、農家レストラン等を設置可能施設として追加等

■グリーンインフラ推進戦略の策定 (R1.7)

- ・グリーンインフラ主流化のための環境整備として、プラットフォームの創設、推進のための支援の充実 等



資料：国土交通省

また、持続可能な開発目標（SDGs）は2015年9月の国連総会において採択されていますが、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるグリーンインフラの推進は、SDGsの目標達成にも貢献するものと期待されています。

本市は、「SDGs 未来都市」に選定されており、第4次豊中市総合計画「3. 活力ある快適なまちづくり」を受け、自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めていきます。



資料：国連広報センター

とよなか SDGs 未来都市
～明日がもっと楽しみなまち～



資料：豊中市 HP

その他にも、気候変動対策や生物多様性の確保に向けた取組が求められており、みどりが持つCO₂吸収源や生物の生息空間としての役割に対する重要性が増加しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、貴重な屋外空間として公園、緑地等のオープンスペースの価値が再認識され、街路空間との連携によるウォークアブル空間の形成が求められているほか、民間事業者を始めとする多様な主体との連携・協働による都市公園マネジメントが求められています。

1.5.みどりの現況と考察

本市のみどりの現況について、基本方針に基づいた考察は次の通りです。

【基本方針1】 受け継がれてきたみどりの保全や育成に関して

- 既存の公園・緑地のみどりは適正な維持管理がされており、新たな公園・児童遊園の整備も周辺環境や生育環境に配慮して進めています。
- 平成30年（2018年）に発生した台風21号などの自然災害による被害を受けた樹林・樹木の再生、地域の財産となる貴重な住宅地における保護樹の保全・新規指定などの管理活動も行っています。
- 本市は、市全域が市街化区域のため、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区や風致保安林といった法的な担保力のある緑地（地域制緑地）に関しては一定の保全が図られていますが、その他の緑地、特に樹林・樹木や生産緑地以外の農地については、宅地開発による減少が続いています。
- 街路樹についても、植栽後、数十年が経過し老木や樹勢が劣化するものが多くなり、適切な保全のための剪定に伴う緑量の減少があります。
- 市民との協働により、生物多様性に関連したイベントや調査などにも取り組んでいますが、市民団体の高齢化や参加者数の減少による活動の低下がみられます。

【基本方針2】 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出に関して

- 駅前広場や道路沿いにおける花壇やフラワーポットの維持管理により、多くの人が通行する場所やポケットパークの緑化を推進しています。
- 住宅地における緑化用樹木の配布や生垣緑化助成制度の拡充や新たな制度の開始など、開発等によるみどりの減少を補う意味でも、民有地での緑化推進によるみどりの創出は重要な取り組みです。
- 公有地においても、二の切池公園内のバラ園のリニューアルや花しょうぶ園の維持管理など、市内の花とみどりの魅力を伝えるための「花とみどりの名所」づくりを進めています。
- 公立小・中学校への緑化樹の配布やみどりのカーテンづくりの支援など、様々な機会を利用した緑化が推進され、活動の効果があらわれています。
- みどり全体に占める割合は少ないものの、屋上緑化面積も増加しています。

【基本方針3】 みどりを活かした安全で快適なくらしの実現に関して

- 「豊中市公園施設長寿命化計画」や「都市公園移動等円滑化基準」などに基づき、老朽化が進んだ公園施設の更新、園路の段差解消などのバリアフリー化を進めています。
- 公園はみどりの創出だけでなく、広域避難場所や応援受入拠点として、防災・減災に資するみどりの役割をもっています。これらの機能を強化することも、みどりに対する満足度や公園・緑地に対する満足度の向上に繋がっています。
- 緑化活動の拠点である「花とみどりの相談所」の活用や、地域での緑化活動の先導役となる緑化リーダーの養成、「緑と食品のリサイクルプラザ」における堆肥「とよっぴー」の製造などのみどりに関する情報発信を行い、みどりの普及啓発に努めることで、各種事業の認知度が向上傾向にあります。

1.6.課題と今後の取組みへの考え方

これまでの取組みやみどりの現況と考察を踏まえた課題と、残りの計画期間である今後の5年間における取組みへの考え方は次の通りです。

課題① みどり率・緑被率の低下への対応

本市は、市全域が市街化区域のため、みどりの量が減る要因の多くを占める開発行為とみどりの量が増える要因の緑化推進の取組みが同時並行で実施されています。

地域ごとにみると、市の北部・中部・東部地域は郊外住宅地として一定の開発が完了している一方で、千里中央公園や千里緑地、千里川周辺の緑地などのまとまったみどりもあります。そのため、緑被地が大きく増えることは現実的に困難と考えられますが、これまで一定の実績を残しているまとまりのあるみどりの保全について、引き続き取組む必要があります。また、大規模開発はこの5年間でピークを迎えたとみられ、今後は既存のみどりの保全や地域住民が関わる身近なまちなかのみどりの創出によって、目標数値の向上を目指す必要があります。

一方、西部地域は産業や工業地として整備が進んでおり、みどりの量が比較的少ない地域のため、工場などの事業所の緑化をどのように推進していくか考える必要があります。大阪国際空港周辺緑地やふれあい緑地などを保全することは対象地に樹林・樹木を多く占めるため、みどり率の向上に繋がるとみられます。

また、南部地域は現在再整備が行われており、今後5年間も続いていく見込みです。そのため、民有地においては再整備時の緑化を働き掛けていきます。公有地については再整備や大規模改修の際に屋上緑化・壁面緑化を含めた緑化推進に取り組むとともに、学校の統廃合や公共施設の再編により発生する敷地の活用について、緑化の観点を入れて検討する必要があります。

このように、民有地の緑化を推進するため、市がモデルとなるよう質の高い緑化を進めながら、市民・事業者など多様な主体と連携してみどりの保全・創出に取り組むことで、みどり率・緑被率の向上を進める必要があります。

課題② みどり、公園・緑地に対する満足度の維持・向上

市民アンケートの結果から、みどりの量や印象について満足している市民はそれぞれ7割を超えており、市内のみどりは一定の評価を得ていることが確認できました。

また、回答結果からは、市民が直接目にするみどりに対しての満足度が高く、まちなかのみどりが満足度に繋がっているとみられます。

更に、地域の中の印象的なみどりの回答として、「庭木や鉢植えなどの住宅のみどり」が多く、住宅地における緑化用樹木の配布や生垣緑化助成制度の拡充や新たに開始した制度などの施策が効果をあげていると考えられます。また、みどりを育成していると回答した市民は年齢層が高くなるにつれ多くなっており、若い年齢層の育成の参加を促進することが、より満足度の向上に繋がると考えられます。

一方、増やしたいみどりとして、「学校など教育施設のみどり」「商店街や駅前など商業施設のみどり」が比較的多く回答されており、所有者等の協力も得ながら、みどりのまちづくりを進めることが求められています。また、認知されている施策や活用したい施策の回答として、「特にない」が最も多くなっているため、積極的な情報発信や仕組みづくりが課題です。

以上より、課題①における「量」だけではなく、みどりの「質」の向上を目的とする施策の強化についても積極的に取り組む必要があります。

2. 施策の取組み方針

2.1. 基本施策の取組み方針

振り返りを踏まえ、今後5年間については次の通り基本施策に取り組みます。

基本方針	基本施策	今後の取組み方針	今後の具体事業
1. 受け継がれてきたみどりの保全や育成	1. まとまりのあるみどりの保全や育成	風致保安林や民有地の樹木などを対象とした制度を積極的に活用していき、災害対策と合わせた緑化や保護樹の指定拡大、民有地の緑地保全のための支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・台風により被害を受けた風致保安林の法面对策工事を含む再整備 ・公園樹木維持管理方針に基づいた計画的な樹木管理
	2. 生物多様性の保全	<p>【重点施策】エコロジカル・ネットワークの形成</p> エコロジカル・ネットワークの形成に向けて、市民や事業者などみどりを育成・保全する主体の参画を増やす必要があることから、積極的な普及啓発に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地や学校におけるピオトープの整備地の選定 ・ピオトープの認知度を上げるためのイベントの実施
		活動団体の活性化に向けて、団体の取組みや人材育成に対する支援、普及啓発に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の永続的な保全のための活動団体への支援 ・鳥熊山緑地の保全のための活動団体への支援
	3. 連続性や水面のあるみどりの保全や育成	<p>【重点施策】街路樹の保全や育成</p> 老木化や樹勢の劣化などの様々な問題が生じている街路樹について、適切な剪定や植栽を行い、新たな街路樹の保全、育成をするため、計画的に維持管理を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自主管理協定制度」「豊中市アダプトシステム」を活用した道路や緑道の美化活動実施
		街路樹や水路、ため池等については、地域との協働による維持管理に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の年数が経過した緑道の樹木の更新
4. 農地の保全	農地を、都市にあるべき緑と位置づけ、生産緑地地区の指定や市民農園としての活用に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画策定後に新たに策定された「豊中市都市農業振興基本計画」との連携 ・都市計画推進部によって指定された特別生産緑地の長期的な保全 ・市民農園を活用した幅広い年齢層や世代へのまちなかのみどりの周知 	

基本方針	基本施策	今後の取組み方針	今後の具体事業
2. 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出	5. 公有地の緑化	公共施設の整備や大規模改修の際には、民有地の緑化の模範となるような緑化に取り組みます。また、既存のポケットパークの適正な維持管理や、教育施設や保育施設の緑化や学校の統廃合、公共施設の再編等を活用した緑化促進を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場や道路沿いなどの多くの人が通行する場所での活動に対する支援や新たな人材発掘と育成 ・まちなかの交流拠点としてのポケットパークの適正な維持管理 ・公共の教育施設や保育施設における、みどりのカーテンづくりの推進 ・学校の統廃合や公共施設の再編により発生する敷地における緑化促進の強化

6.	民有地の緑化	【重点施策】住宅地における緑化 開発行為に際して、「環境配慮奨励金交付制度」等の周知に努めます。	・住宅地における緑化支援制度の推進
		緑化配慮指針に基づいた住宅地の緑化を促進するとともに、住宅地に比べて緑化の取組みが少ない商業地に対する緑化の充実に努めます。また、促進区域における開発行為等や建築行為に対する大阪府への情報提供と事業者への働きかけを実施します。	・開発行為に対する事業者との協議による緑化の推進
7.	景観を形成する みどりづくり	【重点施策】花とみどりの名所づくり 既存の魅力を保つために定期的な更新を行うとともに、民有地も含めた花とみどりの名所づくりに取り組みます。	・民有地などの花とみどりも含めた花とみどりの名所選定などによる「花とみどりの名所づくり」マップの作成
		生垣緑化助成や緑化樹配付等の緑化支援制度の活用について、関係部局等と連携した周知、啓発を実施します。また、市民や事業者と協働して、屋上や壁面を活用したみどりづくりを推進します。	・公共施設や民間施設が自主的に屋上緑化や壁面緑化に取り組んでもらえるような普及啓発活動

基本方針	基本施策	今後の取り組み方針	今後の具体事業
3. みどりを活かした安全で快適な暮らしの実現	8. 魅力的で利便性の高い公園づくり	【重点施策】安全で特色のある公園づくり 利用者ニーズや社会背景などを踏まえながら、公園の再整備や施設改修に取り組みます。	・千里川土手と一体になった飛行機の見える公園の整備 ・インクルーシブ遊具の導入など安全で特色のある公園づくり
		地域と連携した公園づくりやイベントの開催、「豊中市アダプトシステム」などの活用に取り組みます。	・民間事業者との公民連携による千里中央公園活性化事業の推進および再整備 ・千里緑地第3区の活用
	9. 防災・減災に資する みどりづくり	災害発生時の避難場所や復旧活動の拠点となるような防災公園の増設、機能の拡充を検討します。 延焼遮断帯となるような街路樹については、バリアフリー化との調整を図ります。 また、都市公園と都市公園に隣接する公共施設の一体的活用方法について基準を検討します。	・二ノ切池公園の地震対策 ・都市基盤部と連携した街路樹整備
	10. みどりの保全や 緑化活動に対する 支援	みどりの活動に携わる人材の高齢化や固定化等がみられることから、新たな人材発掘と育成に取り組みます。	・みどりの交流会の活動に対する支援や新たな人材発掘 ・活動発表の場や表彰制度への参加を継続するための普及啓発
	11. みどりの普及啓発	【重点施策】みどりに関するイベントの開催 幅広い世代が参加したくなるような、みどりに関するイベントの開催をめざします。	・多様な事業者と連携したみどりに関するイベントの開催 ・様々なツールを活用した広報の実施
様々な手法による情報発信による、みどりの広報活動に努めるとともに、みどりに関する財源確保のための寄付制度等の導入検討に取り組みます。		・ふれあい緑地1街区などの自然環境を活用した体験型環境学習の実施 ・「とよなか公園魅力アップツアー」の更なる周知や拡充の検討	

2.2. 地域別の取組み方針

基本方針に基づく取組みに加えた、各地域の取組み方針は次の通りです。

① 北部地域：豊かな自然の中で、みどりに親しめるまち

<地域の現況>

- 中央部に千里川を配した丘陵地に形成された市街地で、ヒメボタルの生息地や春日神社風致保安林があります。
- この5年間では開発行為により、竹林等の伐採によりみどりが減少し、みどり率と緑被率は減少しています。
- みどり率は23.4%で、市平均とほぼ同じで、緑被率は15%と市平均より高い傾向にあります。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は46%で、市平均よりもやや低くなっています。一方で、みどりに対する満足度は82%と、市平均よりも高い傾向にあります。

<課題>

- 羽鷹池公園や春日神社風致保安林、大阪大学（待兼山）などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 春日町ヒメボタル特別緑地保全地区などにおける生物多様性の保全
- 北緑丘団地線の街路樹や千里川などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 「みどりの風促進区域」における道路沿線における緑化
- 清谷池公園のバラ園や赤坂上池公園の花しょうぶ園、「宮山つつじ園」などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園の見直し
- 広域避難場所における防災機能の強化

<5年間の主な取組み>

- 春日町ヒメボタル特別緑地保全地区において、市民との協働による竹間伐などの維持管理と生息状況を把握するための調査を行いました。
- バラ園、花しょうぶ園の魅力を高めるため、老朽化した施設の更新を行うとともに、適正な育成管理を行いました。
- 野畑南公園に災害時用トイレ、備蓄倉庫、ソーラー照明等、防災機能を有した施設を整備しました。

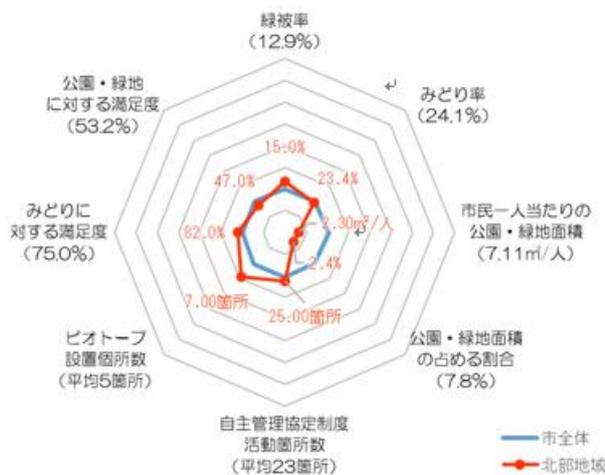
<今後の主な取組み方針>

- 今後、公園・緑地の面積などの指標は、既成市街地となっている本市では大幅な増加は見込めませんが、危険木の撤去後の裸地部分の樹木の植栽や草花緑化などに努めることでみどりの充実を図っていきます。
- 促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為等や建築行為に対する環境配慮協議を行う際には大阪府への情報提供とともに事業者への働きかけを実施します。
- 消防局や危機管理部局及び地域住民と連携を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう施設の適正な維持管理を行います。

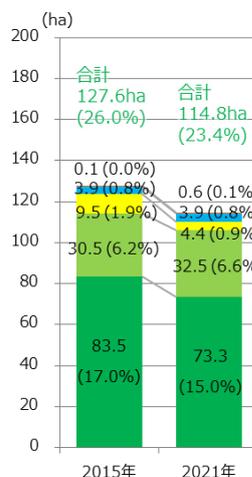
<主な関連施策>

- 1.公園・緑地のみどりの保全や育成
- 2.歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 8.街路樹の保全や育成
- 9.河川のみどりの保全
- 10.水路のみどりの保全や育成
- 22.道路沿線における緑化
- 23.風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 25.花とみどりの名所づくり
- 29 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 30 安全で特色のある公園づくり
- 38 花とみどりの相談所の活用

<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移



■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

② 北東部地域：都市の利便性と豊かな自然をともに享受できるまち

<地域の現況>

- 規模の大きな住宅団地や公園があり、豊かな自然環境と調和したまちが形成されています。
- この5年間では、マンションの建て替えなどによりみどりが減少し、みどり率と緑被率は減少しています。
- みどり率は40%、緑被率は28.8%と、市平均よりかなり高い傾向にあります。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は64%、みどりに対する満足度は85%と、市平均よりも高い傾向にあります。

<課題>

- 千里緑地や千里中央公園、上新田天神社などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 多様な生き物が生息・生育する島熊山緑地などにおける生物多様性の保全
- 千里西町外回り線の街路樹や天竺川などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 「みどりの風促進区域」における道路沿線における緑化
- 二ノ切池公園のバラ園や千里東町公園の花しょうぶ園などの花とみどりの名所づくり
- 千里緑地や島熊山緑地などのみどりを見渡す眺望点づくり
- 千里中央地区再整備との連携及び二ノ切温水プールの再整備による安全で特色のある公園づくり

<5年間の主な取り組み>

- 日常の除草や剪定等を適切に実施し、樹木の簡易点検を行い危険木について伐採等を行いました。
- 市民との協働による竹間伐や森林病害虫の防除などの保全活動の実施や、市民の島熊山緑地の自然環境の保全に対する意識の向上を図るため、自然観察会を開催しました。
- 老朽化した施設の更新を行うとともに、二ノ切池公園バラ園をリニューアルオープンしました。
- 二ノ切池の地震対策を実施しました。
- 千里中央公園における民間事業者による健康支援のためのデジタルサイネージ設置が実施されました。
- 千里中央公園の施設改修工事を実施しました。

<今後の主な取り組み方針>

- 千里中央地区については、北部大阪の都市拠点にふさわしいシンボリックな地域の魅力向上につながる公園づくりを推進します。
- 危険木の撤去後の裸地部分の樹木の植栽や草花緑化などに努めることでみどりの充実を図っていきます。
- 島熊山緑地を持続的に保全するため、減少傾向にある島熊山緑地管理活動参加者数の確保と計画的な活動を実施します。
- 消防局や危機管理部局及び地域住民と連携を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう施設の適正な維持管理を行います。
- 公園などの自然環境を活用し、幅広い世代が楽しみながら活動できる体験メニューを検討し、市のホームページなどによる広報を行います。
- エコロジカル・ネットワークの形成に向けて、みどりを育成・保全する主体（市民や事業者など）の参画を増やす必要があり、積極的な普及啓発を推進します。

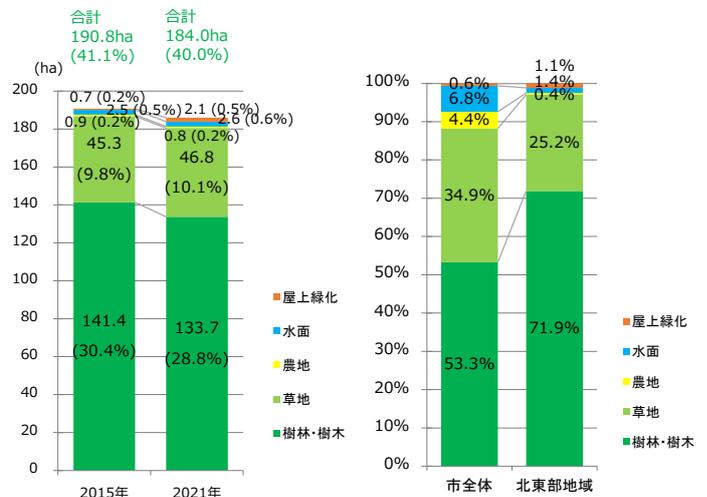
<主な関連施策>

- 1.公園・緑地のみどりの保全や育成
- 2.歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 7.島熊山緑地の保全
- 8.街路樹の保全や育成
- 9.河川のみどりの保全
- 22.道路沿線における緑化
- 25.花とみどりの名所づくり
- 26.みどりを見渡す眺望点づくり
- 30.安全で特色のある公園づくり
- 33.公園・緑地における防災機能の強化
- 45.自然体験及び野外活動の場の活用

<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移

■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

③ 中北部：みどりを身近に感じる自然的景観と賑わいのまち

<地域の現況>

- 台地や丘陵地の上に形成された市街地で、稲荷神社周辺や東豊中町は風致地区に指定されています。
- この5年間では、開発行為による樹林の伐採でみどりが減少し、みどり率と緑被率は減少しています。
- みどり率は17.4%、緑被率は9.6%と市平均より低い傾向にあります。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は44%、みどりに対する満足度は66%と、市平均よりも低い傾向にあります。

<課題>

- 大門公園や稲荷神社、刀根山病院やどんぐり山などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 神崎刀根山線の街路樹や千里川などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 「みどりの風促進区域」における道路沿線における緑化
- 稲荷山風致地区や東豊中風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 上野新田線や千里園熊野田線の街路樹などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園の見直し
- 高校野球発祥の地記念公園を活用した安全で特色のある公園づくり
- 応援受入拠点における防災機能の強化

<5年間の主な取り組み>

- 風致地区内において建築物の新築、宅地の造成、木竹の伐採等の行為を行う場合、条例の基準をもとに審査を行い、許可を行いました。
- 所有者からの申請に基づき、保護樹の指定及び解除を行いました。

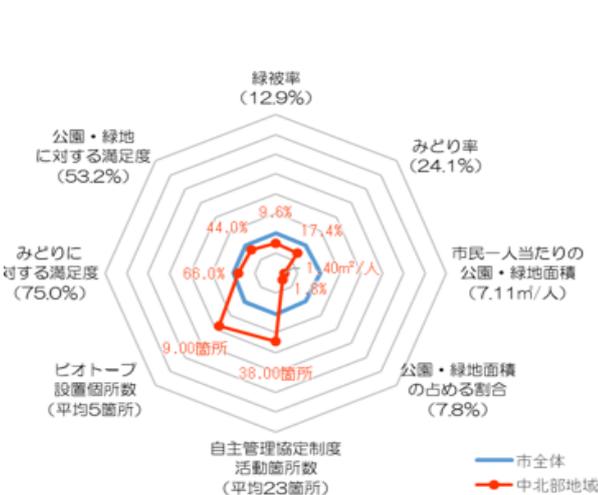
<今後の主な取り組み方針>

- 引き続き、風致に富んだ良好な都市景観を継承していくために、必要に応じて地区内の現場調査等を行います。
- 所有者の負担の軽減を図り、民有地の樹木を保全するために、「保護樹等助成金制度」や「松くい虫防除事業助成金等交付制度」を積極的に活用するよう引き続き促進します。
- 消防局や危機管理部局及び地域住民と連携を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう施設の適正な維持管理を行います。
- 住宅地における緑化支援制度を推進します。
- 民有地などの花とみどりも含めた花とみどりの名所選定による「花とみどりの名所づくり」マップを作成します。

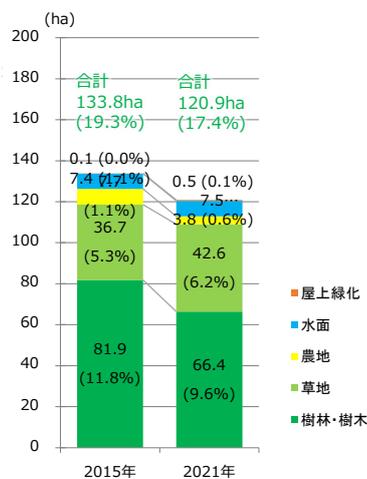
<主な関連施策>

- 1.公園・緑地のみどりの保全や育成
- 2.歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 4.民有地の樹林・樹木の保全に対する支援
- 8.街路樹の保全や育成
- 9.河川のみどりの保全
- 22.道路沿線における緑化
- 23.風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 25.花とみどりの名所づくり
- 29.長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 30.安全で特色のある公園づくり
- 33.公園・緑地における防災機能の強化

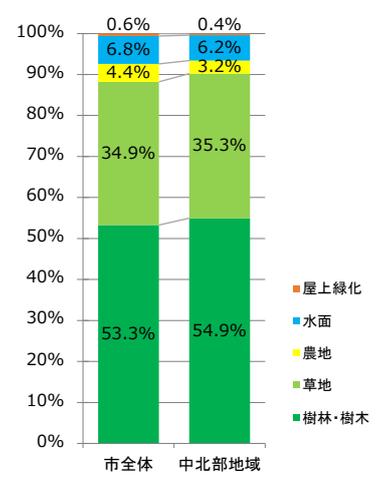
<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移



■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

④ 中部地域：みどりを通じた触れ合いと歴史や文化がいきづくまち

<地域の現況>

- 平坦な台地に開けた市街地で、ふれあい緑地や豊島公園などの規模の大きな公園の他、歴史や文化に関連したみどりが多くみられます。
- この5年間では開発行為による樹林の伐採でみどりが減少し、みどり率と緑被率は減少しています。
- みどり率は13.1%、緑被率は7.1%で、南部地域に次いで低い地域となっています。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は63%、みどりに対する満足度は82%で、市平均よりも高い傾向にあります。

<課題>

- ふれあい緑地や豊島公園、大石塚・小石塚古墳や原田神社などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 曽根服部緑地線の街路樹や天竺川、中央幹線景観水路などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 「みどりの風促進区域」における道路沿線における緑化
- 服部風致地区や大石塚風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- ふれあい緑地や豊島公園のバラ園などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画緑地の見直し
- ふれあい緑地の利活用及び豊中ローズ球場の再整備に伴う周辺整備の検討などによる安全で特色のある公園づくり
- 花とみどりの相談所の活用

<5年間の主な取り組み>

- 風致地区内において建築物の新築、宅地の造成、木竹の伐採等の行為を行う場合、条例の基準をもとに審査を行い、許可を行いました。
- ビオトープ機能を有する「ふれあい緑地1街区」の活用について地域等と検討し、新たな自然環境啓発を実施しました。

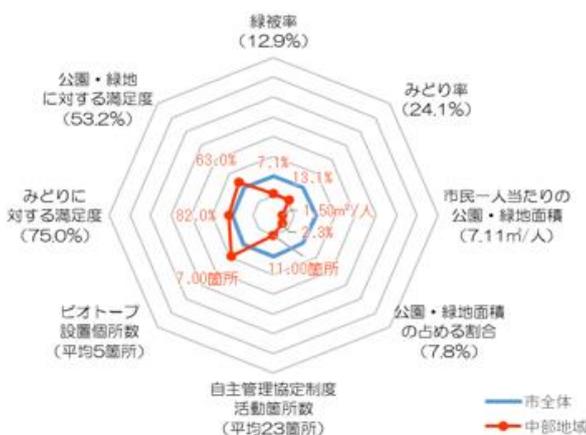
<今後の主な取り組み方針>

- 引き続き、風致に富んだ良好な都市景観を継承していくために、地区内の定期的な現場調査等を行い、違反行為等がないか確認をしていきます。
- 今後、公園・緑地の面積などの指標は、既成市街地となっている本市では大幅な増加は見込めませんが、危険木の撤去後の裸地部分の樹木の植栽や草花緑化などに努めることでみどりの充実を図っていきます。
- 公園などの自然環境を活用し、幅広い世代が楽しみながら活動できる体験メニューを検討し、市のホームページなどによる広報を行います。

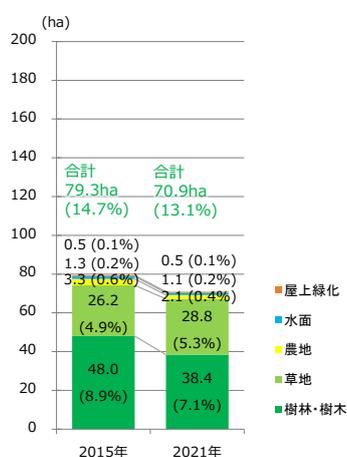
<主な関連施策>

- 1.公園・緑地のみどりの保全や育成
- 2.歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 8.街路樹の保全や育成
- 9.河川のみどりの保全
- 10.水路のみどりの保全や育成
- 22.道路沿線における緑化
- 23.風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 25.花とみどりの名所づくり
- 29 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 30 安全で特色のある公園づくり
- 38 花とみどりの相談所の活用

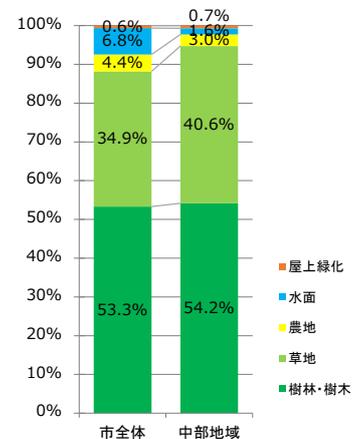
<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移



■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

⑤ 西部地域：みどりの中でくらしと産業が共存し、空の広がりを感じるまち

<地域の現況>

- 空港や工場、事業所等が集積した市街地で、ふれあい緑地や猪名川公園などの規模の大きな公園があります。
- この5年間では、開発によるみどりの減少と、河川区域の草地の樹林化や樹木の成長がみられ、緑被率はやや増加しています。
- みどり率は28.6%で、市平均よりやや高く、緑被率は7.4%と市平均より低い傾向にあります。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は28%、みどりに対する満足度は48%と、市平均よりも低い傾向にあります。

<課題>

- ふれあい緑地や春日神社（利倉）などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 大阪国際空港線の街路樹、猪名川や千里川、中央幹線景観水路や豊能南部親水水路などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 豊中市伊丹市クリーンランドにおける多様な手法による公共施設の緑化
- 工場などの事業所が進める工業地における緑化
- 猪名川公園や利倉西緑地などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画緑地の見直し
- 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用

<5年間の主な取り組み>

- ふれあい緑地に災害時用トイレ、備蓄倉庫、ソーラー照明等、防災機能を有した施設を整備しました。
- 豊中市伊丹市クリーンランドなどの整備に伴い、公共施設の環境配慮指針の適切な指導を行い、平成29年度に比べて緑化した面積が増加しました。

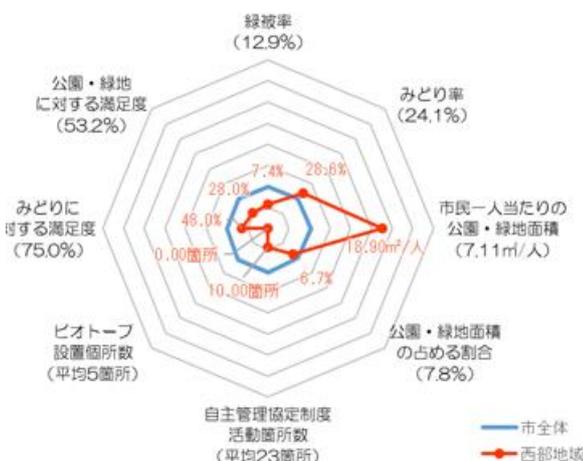
<今後の主な取り組み方針>

- 住宅地に比べ、緑化の取り組みが少ない工業地に対して、「環境配慮奨励金交付制度」などの制度との連携により、施策を推進します。
- 長期未整備となっている都市計画公園・緑地について、引き続き実現性等の検討を行います。
- みどりの保全や緑化に関する支援制度の普及啓発に努めます。

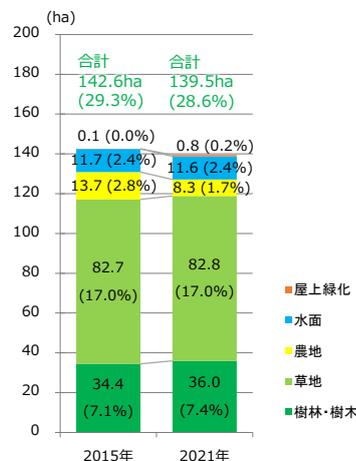
<主な関連施策>

- 公園・緑地のみどりの保全や育成
- 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 街路樹の保全や育成
- 河川のみどりの保全
- 水路のみどりの保全や育成
- 多様な手法による公共施設の緑化
- 工業地における緑化
- 花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用

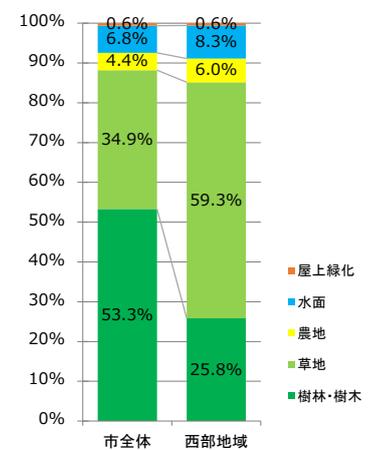
<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移



■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

⑥ 東部地域：豊かなみどりが新しいまちなみと調和するまち

<地域の現況>

- 服部緑地の樹林地や住吉神社（若竹町）の社寺林などの自然があり、市内でもみどりの多い地域です。
- この5年間では開発による緑被量（樹林・樹木）の減少と、水草の繁茂による増加もみられますが、全体としては、みどり率と緑被率ともに減少しています。
- みどり率は40.6%、緑被率は23.4%で、ともに市平均より高い傾向にあります。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は75%、みどりに対する満足度は87%で、市平均よりも高い傾向にあります。

<課題>

- 服部緑地や住吉神社（若竹町）などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 神崎刀根山線や千里園熊野田線の街路樹、天竺川や高川などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 服部風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 服部緑地や天竺川、高川などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画緑地の見直し
- 広域避難場所や応援受入拠点、後方支援活動拠点における防災機能の強化

<5年間の主な取り組み>

- 日常の除草や剪定等を適切に実施し、樹木の簡易点検を行い危険木について伐採等を行いました。
- 風致地区内において建築物の新築、宅地の造成、木竹の伐採等の行為を行う場合、条例の基準をもとに審査を行い、許可を行いました。

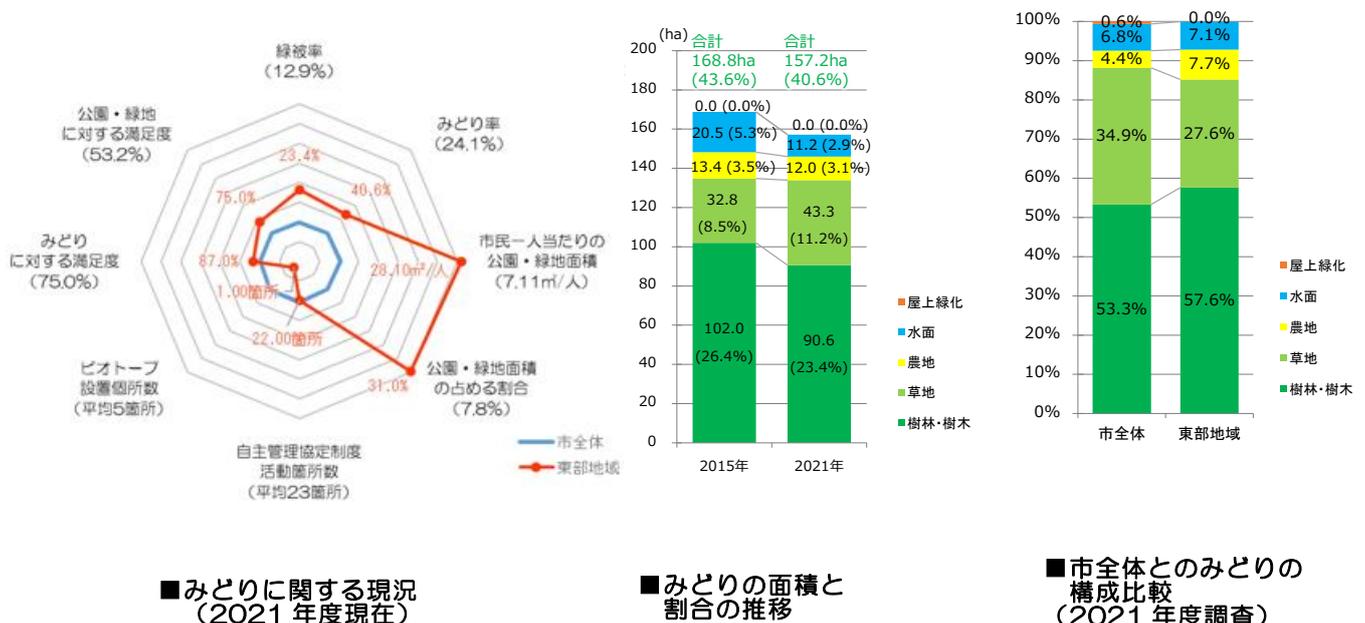
<今後の主な取り組み方針>

- 引き続き、風致に富んだ良好な都市景観を継承していくために、地区内の定期的な現場調査等を行い、違反行為等がないか確認をしていきます。
- 長期未整備となっている都市計画公園・緑地について、引き続き実現性等の検討を行います。
- みどりの保全や緑化に関する支援制度の普及啓発に努めます。

<主な関連施策>

- 公園・緑地のみどりの保全や育成
- 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 街路樹の保全や育成
- 河川のみどりの保全
- 風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり
- 花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 公園・緑地における防災機能の強化

<みどりに関する数値>



⑦ 南部地域：みどりの中でくらしと産業が共存し、災害に強い安心感のもてるまち

<地域の現況>

- 小規模な戸建住宅などが建ち並ぶ市街地が形成されており、みどりが少ない地域です。
- この5年間では開発行為による樹林の伐採により、みどりが減少し、みどり率と緑被率は減少しています。
- みどり率は16.5%、緑被率は5.7%と、7地域の中で最も低くなっています。
- 市民アンケート（2021）によると、公園・緑に対する満足度は38%、みどりに対する満足度は58%と、市平均よりも低くなっています。

<課題>

- 野田中央公園や菰江公園、椋橋総社などのまとまりのあるみどりの保全や育成
- 神崎刀根山線の街路樹や旧猪名川、神崎川などの河川、中央幹線景観水路や豊能南部親水水路などの連続性や水面のあるみどりの保全や育成
- 工場などの事業所が進める工業地における緑化
- 「みどりの風促進区域」における道路沿線における緑化
- 旧猪名川堤防や野田堤防などの花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園の見直し
- 神崎川公園の再整備による安全で特色のある公園づくり
- 広域避難場所や応援受入拠点における防災機能の強化
- 庄内・豊南町地区における防災機能の強化

<5年間の主な取り組み>

- 公園・緑地の防災施設の設置や保護樹の助成を行いました。
- 中央幹線景観水路や豊能南部親水水路について、植樹帯等の清掃や植栽管理などを行いました。
- 緑道の整備や道路沿いなどの花壇、フラワーポットの適切な維持管理を行うとともに、市民との協働による花苗の育苗、花壇管理活動を行いました。
- ビオトープ調査を実施しました。
- 道路沿いの花壇、フラワーポットの維持管理や、市民との協働による花苗の育苗、地域花壇の管理活動を行いました。

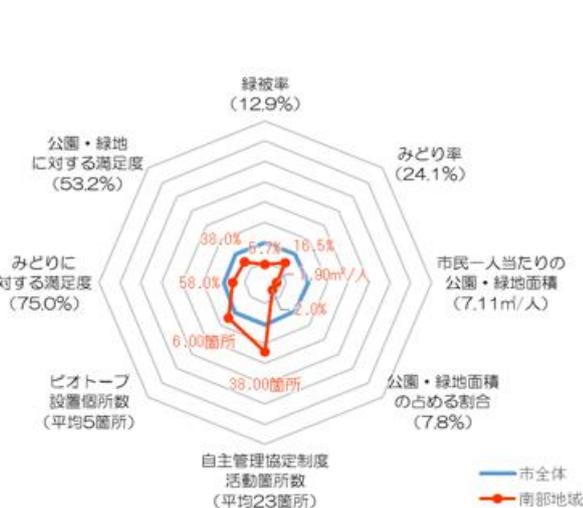
<今後の主な取り組み方針>

- 野田中央公園、菰江公園の延焼遮断帯の形成と防火施設の適正な維持管理を行います。
- 「みどりの風促進区域」における事業の連携やエコロジカル・ネットワークの形成に取り組みます。
- 未開設区域がある神崎川公園について、必要性や実現性など、様々な観点から整備のあり方について検討します。
- 緑道の整備を推進するとともに、街路樹の計画的な維持管理を行います。
- みどりのカーテンづくりの指導方法を見直します。
- みどりの保全や緑化に関する支援制度の普及啓発に努めます。

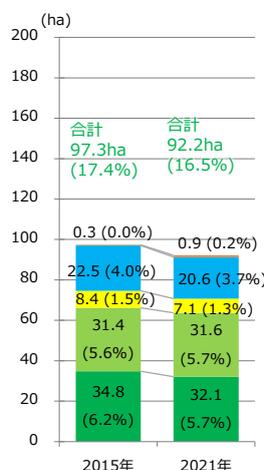
<主な関連施策>

- 公園・緑地のみどりの保全や育成
- 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成
- 街路樹の保全や育成
- 河川のみどりの保全
- 水路のみどりの保全や育成
- 工業地における緑化
- 道路沿線における緑化
- 花とみどりの名所づくり
- 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し
- 安全で特色のある公園づくり
- 花とみどりの相談所の活用
- 庄内・豊南町地区における防災機能の強化

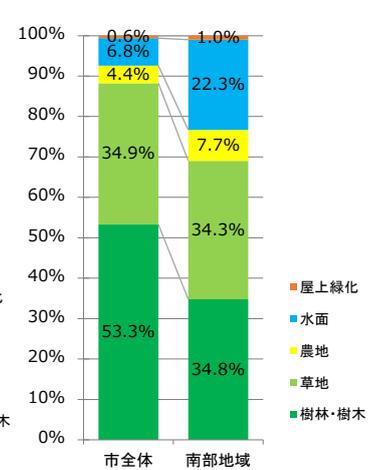
<みどりに関する数値>



■みどりに関する現況 (2021年度現在)



■みどりの面積と割合の推移



■市全体とのみどりの構成比較 (2021年度調査)

2.3. 緑化重点地区の取り組み方針

現行計画に定めている緑化重点地区についても、今後5年間の取り組み方針を次の通り示します。

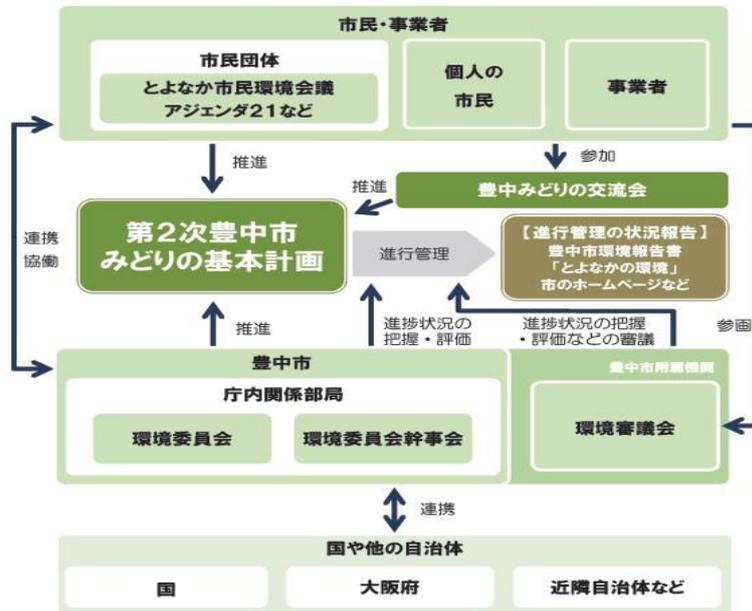
項目	重点的な施策	5年間の主な取り組み	今後の主な取り組み方針
みどりの拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所である野田中央公園、応援受入拠点である菰江公園の延焼遮断帯の形成やオープンスペースの確保 ・棕橋総社や住吉神社（豊南町西）などの社寺林の保全 ・神崎川公園の再整備 	公園・緑地の防災施設の設置や保護樹の助成を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・野田中央公園、菰江公園の延焼遮断帯の形成と防火施設の適正な維持管理を行います。 ・保護樹等助成金制度の見直しを検討します。
みどりの軸	<ul style="list-style-type: none"> ・旧猪名川の草地、天竺川や高川の堤内地側の法面の樹林地や草地の保全 ・神崎川の緑道や緑地帯の適正な維持管理 ・中央幹線景観水路や豊能南部親水水路の樹木などの適正な維持管理 	中央幹線景観水路や豊能南部親水水路について、植樹帯等の清掃や植栽管理などを行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどりの風促進区域」における事業の連携やエコロジカル・ネットワークの形成に取り組みます。
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地の樹木などの維持管理 ・地域住民による緑化活動をの ・沿道のみどりの保全や育成、防災施設の適正な維持管理 	緑化重点地区における公園・緑地について、樹木の剪定や除草等の維持管理を行いました。	「自主管理協定制度」などにより、地域住民による緑化活動を推進します。
街路樹・緑道	<ul style="list-style-type: none"> ・通り池水路などの緑道の整備 ・都市計画道路の三国塚口線や穂積菰江線などの街路樹の整備 ・街路樹や緑道の樹木などの適正な維持管理と老木樹木の更新 ・沿道の草花緑化 ・沿道のみどりの保全や育成 	緑道の整備や道路沿いなどの花壇、フラワーポットの適切な維持管理を行うとともに、市民との協働による花苗の育苗、花壇管理活動を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道の整備を推進するとともに、街路樹の計画的な維持管理を行います。
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内や沿道のみどりの保全や緑化の推進、校舎の壁面を利用した緑化 ・学校の再配置にあわせたみどりの確保 	ビオトープ調査を実施しました。また、ゴーヤの苗の配布や、みどりのカーテンづくりに取り組みました	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の再配置と連動した、みどりの確保や緑化の推進に努めます。 ・みどりのカーテンづくりの指導方法を見直します。
駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・プランターなどを活用した魅力的な駅前づくり ・駅前再開発に際しての、みどりの確保 	道路沿いの花壇、フラワーポットの維持管理や、市民との協働による花苗の育苗、地域花壇の管理活動を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働による草花緑化を推進するとともに、関係部局と連携します。
住宅地・商業地・工業地など	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民緑地認定制度」の適用推進 ・「生垣緑化助成金交付制度」制度拡充 ・準工業又は工業地域における事業所の緑化推進 ・みどりに関するイベントの積極的な開催 ・「緑化樹等配付制度」による緑化推進 ・「豊中市環境配慮指針」に基づく緑化協議 ・「庄内コラボセンター（ショコラ）」の緑化 ・防災効果を高めるみどりの普及啓発 	みどりに関するイベントの開催や緑化樹の配付を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの保全や緑化に関する支援制度の普及啓発に努めます。
みどりの風促進区域	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどりの風促進区域」の情報発信 	南部地域における、みどりの風の道形成事業補助は、ありませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が行う開発行為等に対する協議に際し、大阪府への情報提供や事業者への働きかけを行います。

3. 施策の進行管理

3.1. 推進体制

今後の進行管理は、引き続き豊中市（庁内関係部局、環境審議会）と市民・事業者（市民団体、個人の市民、事業者）、豊中みどりの交流会という体制で推進します。

また、国や他自治体と連携を図りながら、よりよいみどりのあり方を検討していきます。



3.2. 進行管理方法

施策を着実に推進していくため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）を繰り返すPDCAサイクルを用いた進行管理を引き続き行います。



3.3. スケジュール

令和9年度（2027）年度までのスケジュールは、現行計画に沿って進行します。

	2022	2023	2024	2025	2026	2027
計画の運用・総括・改定	中間総括					計画改定
PDCAサイクル	○	○	○	○	○	○
計画目標による評価	●	●	●	●	◎	●
モニター指標による評価	○	○	○	○	○	○

【計画目標による評価】

- ：市民一人当たりの公園・緑地面積、みどりに関するイベントのイベント参加者数（事業の実施状況から算出）
- ◎：みどり率、緑被率、みどりや公園・緑地に対する満足度などの全項目